

事業所名 大崎むつみの里第2事業所 (児童発達支援)

公表日 令和8年2月26日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	2	面談等の際、部屋が不足した際に使用できるよう、職員室内に仕切りを作り、面談できるスペースを設けた。	プライバシーが保たれる相談室など不足していると思われる。各部屋のスペースは広く恵まれているが、仕切りが欲しいと感じる時がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16	0	今年度は配置基準以上の職員を配置、個別の対応が必要な時に対応できるようにしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	1	日々の清掃、整理整頓を心掛けていく。	窓のサニにほこりや汚れがたまっているところはこまめな清掃が必要。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	2	個別対応の際には、状況やお子さんに合わせて安心して過ごせるよう対応していく。	部屋数がもっと充実しているとよい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	利用者アンケートを実施している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16	0		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	研修計画を立て、実施している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	0	ホームページで公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	1	クラスの中だけでなく、上司や専門職の意見を取り入れながら行っている。他の園のカリキュラムなども参考にし、新しい取り組みができるよう工夫している。	内容の固定化を感じる時がある。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	0	朝の会で確認し、情報共有をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	0	帰りの会で振り返りを行い、情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0	今年度より、通園クラスの幼稚園・保育園との並行利用を始めた。 通園クラス、フォロークラス等利用されている方について、保護者に確認の上情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0	保護者の依頼を受け、うるおいファイルの記入や、就学先との情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	16	0	相談支援連絡会が開く地域の幼稚園・保育園・児童発達支援対象の交流会に参加している。今後、子ども部会等発足後は参加し、より連携を深めていく。	スーパーバイズの役割や、地域の事業所と交流したり開かれたセンターが求められていくと思う。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	16	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	16	0	今年度より準備、2月発足予定。説明会や、緑区で行っている児童分野の交流会には参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	16	0	年少児から年長児対象で近隣の2か所の保育園と交流保育を行っている。今年度年10回予定。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	1	専門職(心理、ST、管理栄養士)の保護者向け勉強会を行っている。 療育センターからのペアレントトレーニングの実施案内など掲示し、情報提供している。	十分ではないと感じている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	1	お母様中心のティータイムとクラス懇談会、お父様中心の土曜参観と懇談会を実施している。ごきょうだいについては運動会やむつみ祭などご家族で参加できる行事を実施している。	きょうだい同士の交流はあまり持っていないと感じる。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16	0	事業団内療育施設のX(エックス)にカリキュラムや行事の様子の投稿を行っている。むつみの里インスタにも行事の様子を投稿している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0	個人情報保護、セキュリティーについての研修を全職員対象に実施している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	0	11月にむつみ祭を実施。地域の方にも声をかけさせていただいている。8月に施設見学会を実施、緑区内全保育園・幼稚園・児童発達支援にお声かけさせていただき、多数のご参加をいただいた。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	職員の帰りの会で周知し、今後の取り組みについても話し合っている。その後回覧を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	権利擁護、虐待防止研修を全職員対象に実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16	0	今年度対象者なし。		